

多賀城からスパイスカレーの魅力を発信！「来てよかった」と喜ばれる、新たな食文化の拠点づくり

間借り営業やイベント出店を経て、2024年10月にスパイスカレー専門店『SARU CURRY』を多賀城にオープンした青木さん。
「スパイスカレーで地域を盛り上げたい」という熱い想いと、創業を支えた補助金の活用エピソードについてお話を伺いました。

事業者プロフィール



屋号・法人名 SARU CURRY
代表者名 青木 彬（あおき あきら）様
創業日 2024年10月5日
所在地 多賀城市八幡3丁目6-12
都ビル103
リンク [Instagram](#)



2年の準備期間を経てオープンした実店舗

創業の背景・事業内容

Q1.創業のきっかけと、現在の事業内容について教えてください。

私が多賀城でスパイスカレー専門道を創業したきっかけは、「スパイスカレーで地域を盛り上げたい」という思いからです。創業前は、前々職でお世話になった先輩とのご縁で知った松島の人気ハンバーガーショップ「ハリーズジャンクション」の定休日をお借りし、2年間にわたり間借り営業を行いました。また、各地のイベントにも積極的に出店し、多くのお客様や出店者の方々との出会いを通じて、少しずつカレー店として認知していただけるようになりました。当初から2年間の活動後に実店舗を開業することを目標としており、出店地を検討する中で、スパイスカレー専門道がまだ少ない多賀城に可能性を感じました。多賀城からスパイスカレーの魅力を発信し、新たな食文化として地域に根付かせたいと考えています。



スパイスカレー専門道こだわりの味



補助金で整えた厨房から生まれる多彩なメニュー

補助金の活用

Q2.多賀城市創業支援補助金はどのように活用されましたか？

補助金は主に厨房機器の導入や内装工事など、開業時に必要となる初期費用の補填に活用しました。当店は既存設備を活かした形で開業しましたが、近年の猛暑の影響もあり、想定より早くエアコンの性能が不足し、開業から約1年で2台を新しいものに交換する必要がありました。また、水道設備や調理器具なども予想以上に早く更新が必要となる場面がありました。補助金があったことで開業時の負担を軽減でき、その後の設備更新にも余裕を持って対応できたことは、事業継続の面で大きな支えになったと感じています。

お仕事へのこだわりと今後の展望

Q3.お仕事において一番大切にしていることや、今後実現したい夢を教えてください。

仕事において最も大切にしているのは、お客様に「来てよかった」と感じていただくことです。飲食店として美味しい料理を提供することはもちろん、「こういう味やサービスはなかった」と思ってもらえるような、SARU CURRYならではの魅力づくりを心がけています。今後は地域で生産される食材やサービスをカレーを通して発信し、多賀城の魅力を知っていただけるイベントを開催することで、地域全体の活性化にも貢献していきたいと考えています。



明るい店内 新たな食文化の拠点へ

読者へのメッセージ

Q4.これから多賀城で創業する方へのメッセージをお願いします！

私はこれまで本当に多くの方との出会いに支えられながら事業を続けてきました。自分の事業に集中することも大切ですが、地域や人とのつながりを広げることによって新たな可能性や機会が生まれます。ぜひ多くの人と関わりながら、自分らしい事業に挑戦してほしいと思います。